

住友化学プロフィール

岡山プラント概要

操業開始 大正4年(1915年)
 総面積 72,400㎡
 従業員数 189名(2022年3月31日現在)
 生産品目 医薬化学品、生活環境剤、樹脂用添加剤等

本社(東京)

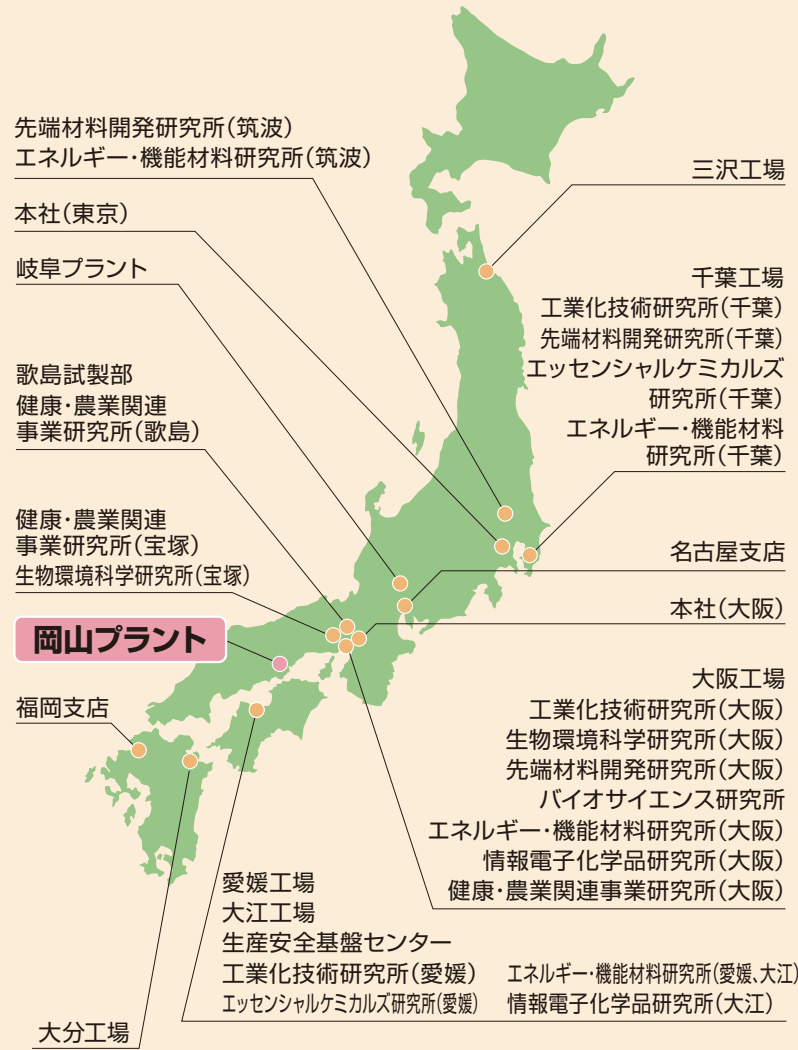
〒103-6020
 東京都中央区日本橋2丁目7番1号
 東京日本橋タワー
 電話:03-5201-0200
 Fax:03-5201-0430

本社(大阪)

〒541-8550
 大阪府中央区北浜4丁目5番33号
 住友ビル
 電話:06-6220-3211
 Fax:06-6220-3345

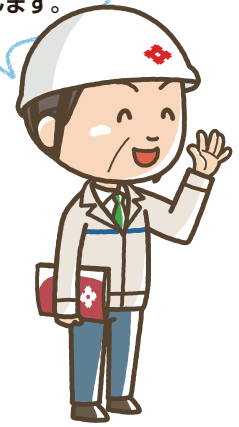
主な海外事業拠点

【北米】ニューヨーク、ボストン、シアトル、フェニックス、カリフォルニア、イリノイ
 【中南米】サンパウロ
 【西欧】ロンドン、ケンブリッジ、ブリュッセル、ミラノ、バルセロナ
 【アフリカ】プレトリア、アルーシャ
 【東アジア】ソウル、北京、大連、上海、香港、台北、高雄、台南
 【東南アジア】シンガポール、クアラルンプール、バンコク、ホーチミン、マニラ
 【南アジア】ムンバイ
 【西アジア】ラービグ、ジェッダ
 【オセアニア】シドニー、タスマニア



ご意見・お問い合わせ、また工場見学のご希望などがございましたら下記までご連絡ください。
住友化学株式会社 岡山プラント 総務部
 電話 086-477-7771 FAX 086-477-7710

岡山プラントの、環境・安全への取り組みを見ていただけましたか？これからも、岡山プラントをよろしくお祈りします。



岡山プラントは、地域・社会・環境のために、さまざまな活動で貢献しているんですね！今日はありがとうございました。



環境安全レポート 2022

岡山プラントのレスポンシブル・ケア活動



ごあいさつ



皆様には、平素より私ども住友化学大分工場岡山プラントの事業活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

岡山プラントは、1915年、繊維産業に必要な不可欠な合成染料の国産化を目的として設立された尾崎染料製造株式会社を前身とし、幾度かの事業変遷を経ながら100年以上にわたりここ児島の地で操業を続けてまいりました。現在では医薬化学品、生活環境剤、樹脂用添加剤など、人々の健康や生活に密着した製品を生産しています。ひとえに地域の皆様のご理解あってのものであり、改めて深く感謝申し上げます。

岡山プラントでは、「無事故・無災害」「地域社会との共存共栄」「顧客重視」の基本理念に則り、地域社会の一員として、ステークホルダーの皆様との対話を通じて地域社会に貢献すべく事業活動を行ってまいりました。これは、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献するとともに、自らの持続的な成長を実現するという、住友化学グループのサステナビリティ推進基本原則にも沿うものです。

そして、この取り組みにあたっては、開発から製造、流通、使用、廃棄に至る全ライフサイクルにわたって安全・環境・品質に責任を持つ自主的な活動である「レスポンシブル・ケア（RC）活動」を、岡山プラントの従業員全員で積極的に推進しています。

昨年、住友化学では、「エコ・ファースト制度」において、3度目となる約束を更新しました。「エコ・ファースト制度」とは、企業が環境大臣に対し、地球温暖化対策、廃棄物・リサイクル対策など、自らの環境保全に関する取り組みを約束し、その企業が、環境の分野において「先進的、独自のかつ業界をリードする事業活動」を行っていることを環境大臣が認定する制度です。岡山プラントにおいても、カーボンニュートラル社会の実現に向けた活動を加速させ、サステナブルな社会の実現への貢献を目指していく所存です。

本レポートでは、最近の岡山プラントのRC活動の取り組みや実績をご報告いたします。是非ともご一読いただき、私どもの活動について理解を深めていただきますとともに、皆さまの忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

2022年9月
住友化学株式会社 大分工場 岡山プラント
プラント長 岡田 浩司

会社紹介

100年以上の歴史がある会社なんだね。



住友化学のあらまし

社長	岩田 圭一	本社所在地	(東京) 東京都中央区日本橋2丁目7番1号 東京日本橋タワー
創業	1913年9月22日		
営業開始	1915年10月4日	(大阪) 大阪市中央区北浜4丁目5番33号 住友ビル	
設立	1925年6月1日	事業部門	エッセンシャルケミカルズ部門、エネルギー・機能材料部門、情報電子化学部門、健康・農業関連事業部門、医薬品部門、その他
資本金	897億円	(連結)	
連結売上収益	27,653億円(2022年3月期)	関連部門	健康・農業関連事業部門、エネルギー・機能材料部門
連結従業員数	34,703名(2022年3月31日現在)	(連結)	

大分工場 岡山プラントのあらまし

プラント長	岡田 浩司	従業員数	189名(2022年3月31日現在)
所在地	〒711-0903 岡山県倉敷市児島田の口6丁目4番1号	敷地面積	72,400㎡
		関連部門	健康・農業関連事業部門、エネルギー・機能材料部門
		生産品目	医薬化学品、生活環境剤、樹脂用添加剤等

※大分工場は、岡山プラント以外に大分工場、歌島試製部、岐阜プラントがあります。



本館事務所(1915年建築)

「無事故無災害」「地域社会との共存共栄」「顧客重視」が岡山プラントの基本理念です。

岡山プラントでは、おもに医薬化学品を生産しているんですね。

Contents 目次



会社紹介	3	労働安全衛生	20
レスポンシブル・ケア活動	6	保安防災	22
環境保全	8	地域とのコミュニケーション	24
化学品安全・品質保証	19	環境保全活動トピックス	26

※本冊子掲載の写真は、2019年以前の活動も含まれているため、マスクなどの感染防止策を取っていないものも含まれます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



2015年9月25日-27日、ニューヨーク国連本部において、「国連持続可能な開発サミット」が開催され、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。本アジェンダは、人間、地球および繁栄のための行動計画として、宣言および目標を掲げました。この目標が、ミレニアム開発目標(MDGs)の後継であり、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」です。住友化学グループも、これらの持続可能な開発のための諸目標の達成に向けた取り組みに貢献していきます。

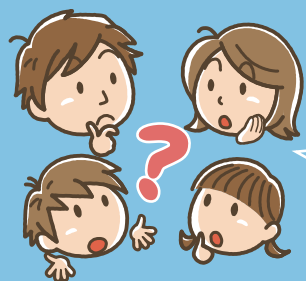
住友化学 岡山プラントへ ようこそ!

0 100 200(m)



工場の中は安全ですが、
万が一ケガをしないよう、
ヘルメットと保護メガネを
つけてくださいね。





「レスポンシブル・ケア」って、 どんな活動？

製品を新しく作り出すところから、お客様に使用され、最後に廃棄されるまで、地球環境や私たちの健康・安全を守るための活動です。

レスポンシブル・ケア活動

私たちの豊かな暮らしは、多くの化学製品によって支えられています。しかしこうした化学製品は、その製造や使用などにあたって、あやまった取り扱いをすると、時には私たちの健康に害を与えたり、事故や環境問題をひき起こすおそれもあります。特に今日では、地球環境問題や技術の進歩などによって発生する新たな問題に対して環境・安全・健康を守るために、化学物質を取り扱う企業が自主的に責任ある行動をとることが求められています。

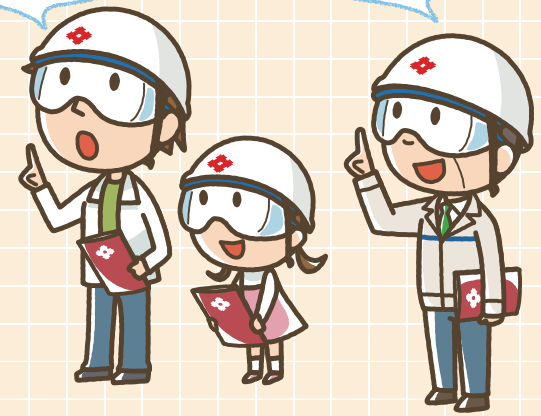
そこで、世界の化学産業界は、国際的に連携し、開発から製造、流通、使用、そして廃棄にいたるまで、環境・安全面の対策を実施する活動を展開しており、これをレスポンシブル・ケア(RC)活動と呼んでいます。

私たち住友化学も、「安全、環境、品質に関する基本方針」のもとで、RC活動を進めています。そして岡山プラントにおいても組織をあげて、無事故・無災害や、環境への影響の低減に取り組んでおり、今後とも、地域社会やお取引先のみなさまに信頼していただけるように、また従業員が安心して働けるように全力を尽くしています。



企業には責任ある行動が求められているんだなあ。

製品づくりにおいて、とても大切なことなんですよ。

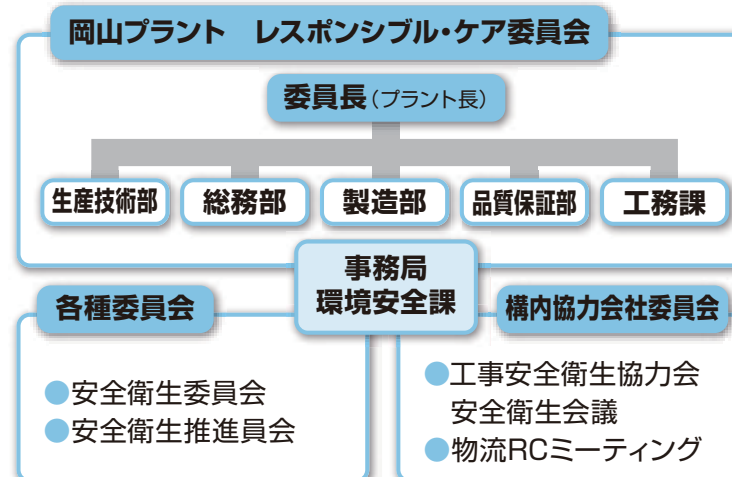


レスポンシブル・ケアの 主な活動内容

レスポンシブル・ケアは、大きく「環境保全」「化学品安全」「保安防災」「労働安全衛生」の4分野に分類されます。住友化学は、この活動の中に「品質保証」も加えて活動しています。



<組織図>





環境を守るために、 どんなことをしているの？

地域や社会のために、環境の大切なルールをつくり、それに沿ってさまざまな取り組みを行っています。

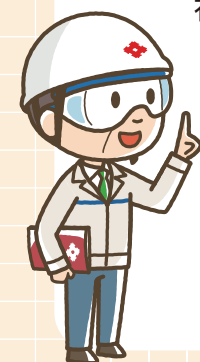
環境を守るため、岡山プラントでは国際的な基準に沿ったルールを決めて運営をしています。

環境方針

理念 私たちは、環境問題が人類共通の重要課題であることを認識し、地球社会の持続可能な発展に貢献するために活動していきます。

方針 岡山プラントは、瀬戸内海国立公園エリアに立地し、且つ医薬化学品及び化成品等の生産により、資源・エネルギーを消費する工場であることを踏まえ、以下の方針に基づき環境マネジメントを実施します。

- 1 環境に関する法令等及び協定等はもとより、自主管理基準を遵守することにより環境汚染の予防に努めます。
- 2 環境方針を達成するために、ISO14001環境マネジメントシステムを活用し、環境目的・環境目標を定め、環境管理計画を実行することにより継続的な改善を図ります。
- 3 『エコファーストの約束』に基づき、化学物質の排出量低減、カーボンニュートラルに向けた取り組み（省エネルギーの推進、CO₂の削減、廃棄物の発生抑制、再資源化）等を推進することで、地球温暖化への対応、持続可能な資源の利用、生物多様性、生態系の保護等の地球環境保全に取り組めます。
- 4 環境教育・社内広報活動を充実し、全従業員の環境方針の理解と環境に関する意識向上を図り、また協力会社へも環境方針を周知し、理解と協力を要請します。
- 5 『地域社会との共存共栄』、『無事故、無災害』、『顧客重視』の基本理念に則り、地域社会の一員として、地域の皆さんや関係諸官庁とのコミュニケーションを図り、地域社会に貢献します。



この方針に沿って、運営しています。

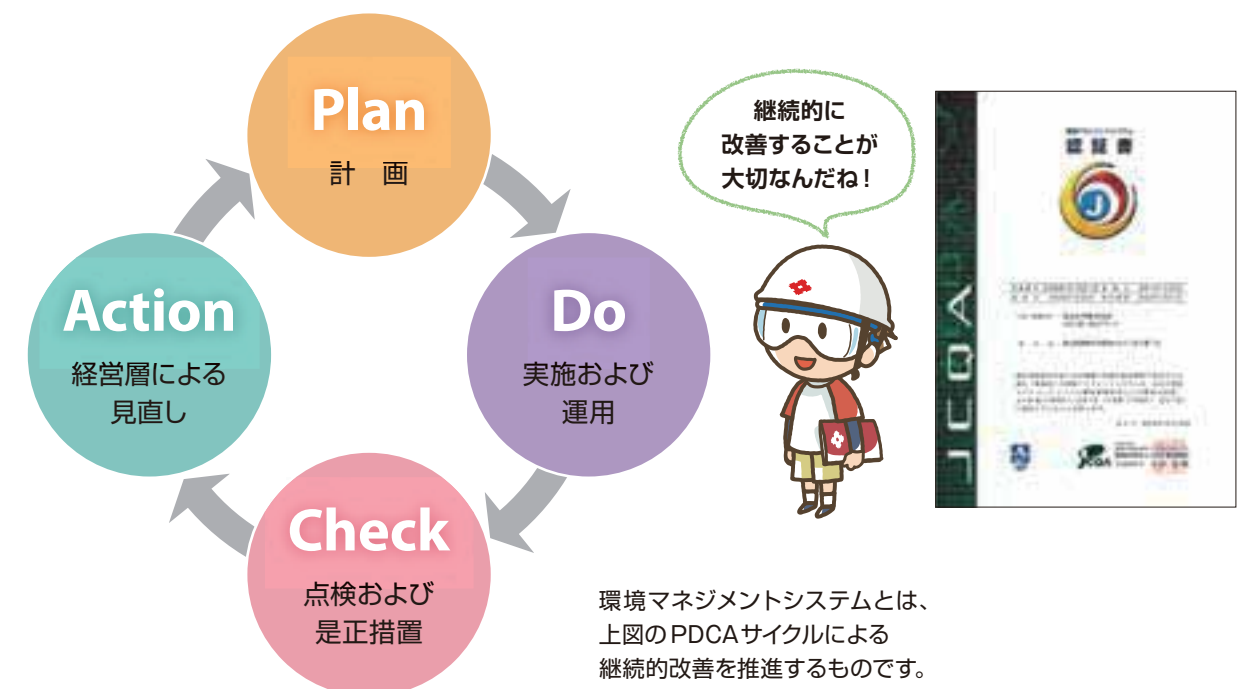
2022年4月1日
住友化学株式会社
大分工場 岡山プラント長



なるほど〜。

ISO14001

2001年1月に環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001（1996年版）の認証を取得しました。その後、2005年12月にはISO14001（2004年版）の新規格での認証登録、2018年5月にはISO14001（2015年版）の新規格での認証登録を行い、規格が要求する環境マネジメントシステムに適合した運営を通じて継続的に改善を行うため、以下を目的・目標に掲げ、全部門で取り組みを推進しています。



環境負荷の低減

- 大気汚染物質の低減
- 排水負荷削減
- 臭気の低減
- 廃棄物の削減 等

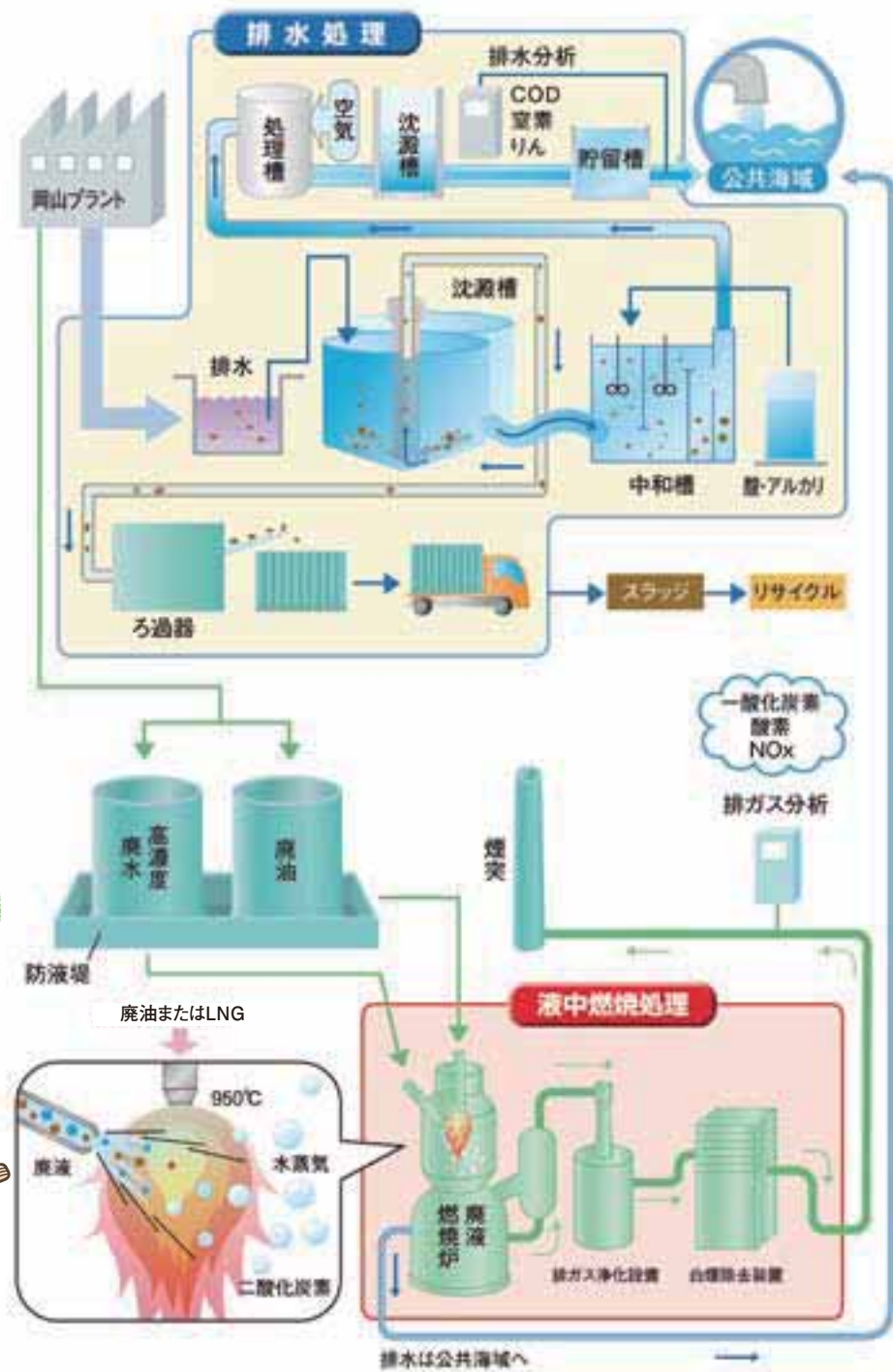
省資源・省エネルギー

- 古紙回収、廃プラ、金属くずの回収
- 再生ドラム缶の使用
- 省エネ型の冷凍機、空調機、LED照明
- 空調温度管理（夏季28℃、冬季19℃） 等

きれいな海を守るため、工場で使った水はきちんとした管理のもと処理をして放流しています。

環境処理設備の概要

当プラントの環境処理設備の概要は下図のとおりです。

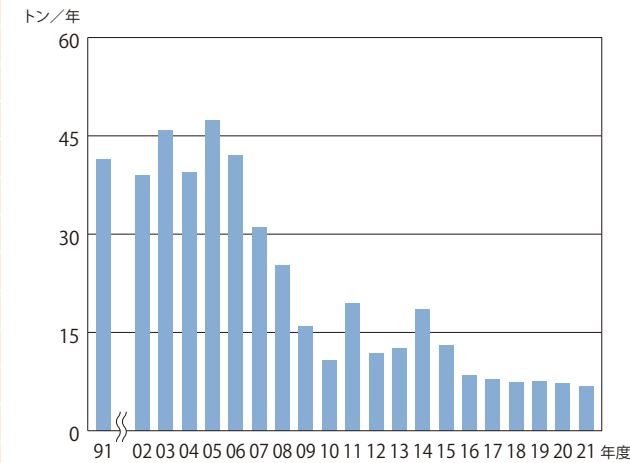


排水はこのような処理されているんですよ。

厳しい管理のもと、水がキレイになるんですね！

水質汚濁防止への取り組みデータ

COD排出量

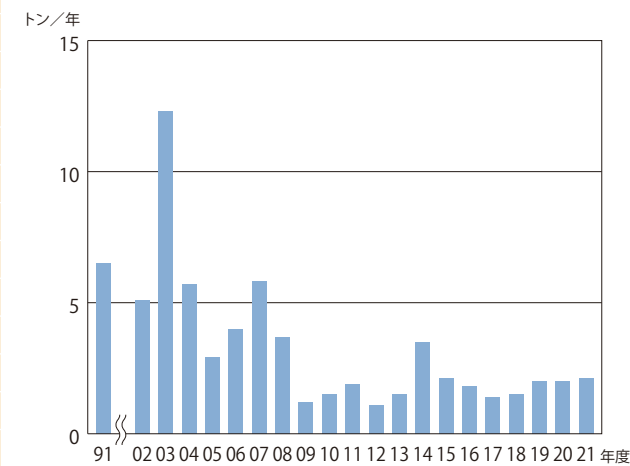


1991年と比べると、半分以上は減っているよ！

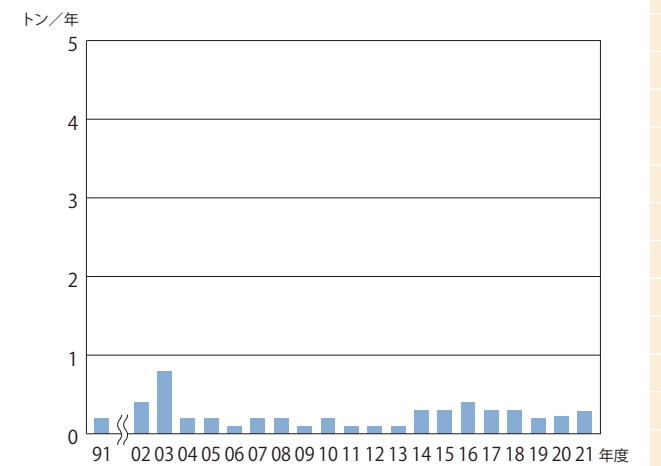


CODとは？ 湖や川、海などの水の汚染度を表すもので、汚れ(有機物)が化学的に分解(酸化)されるときに使われる酸素の量を濃度で表した値をいいます。

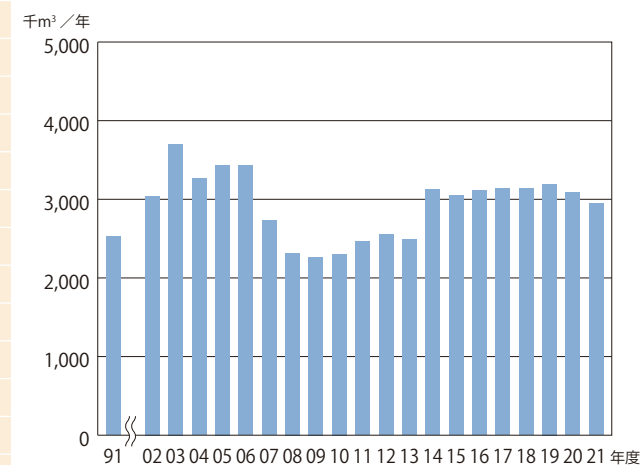
窒素排出量



リン排出量

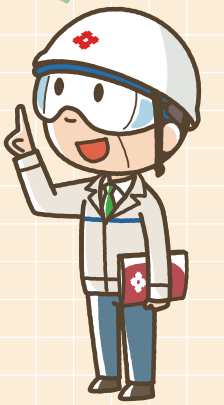


総排水量



私たちが生活に使っている水は、ダムや川の水などを水源にしているため、私たちの生活にも深く関わってきます。

これでお魚も住みやすい環境になっていくんだね。



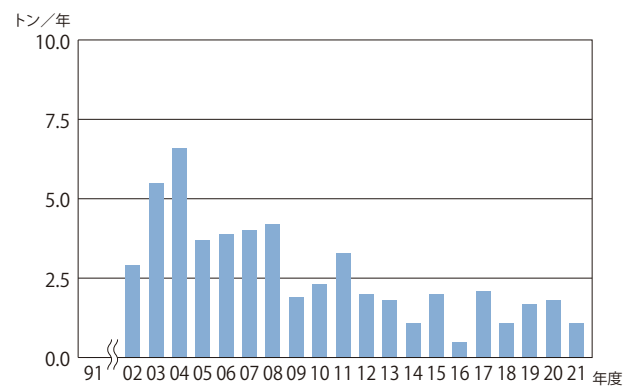
きれいな空を守るために、工場からの排出ガスの量を少なくしています。

大気汚染防止

大気汚染の主要な指標である硫黄酸化物(SOx)、窒素酸化物(NOx)、ばい塵の対策として、岡山プラントでは、法律や公害防止協定による規制値の遵守はもちろんのこと、自主的な対策の推進により排出量の抑制・削減に取り組んでいます。自主的対策として、低硫黄燃料や良質燃料の使用等を行っています。

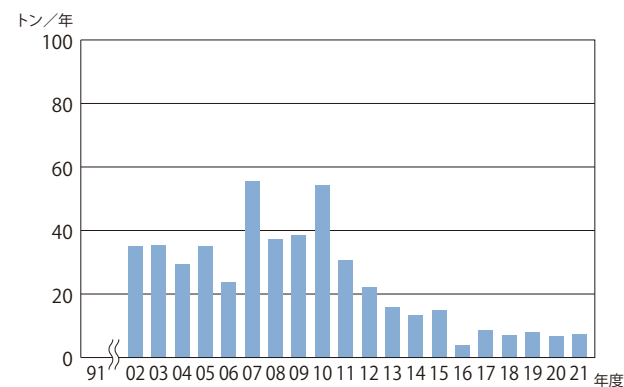
大気汚染防止の取り組みデータ

SOx排出量



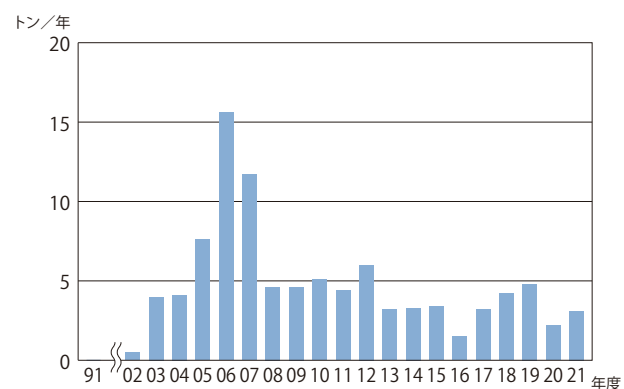
SOxとは？ 燃料などに含まれている硫黄分が燃える過程で硫黄が酸化されて発生します。のどや肺を刺激し気管支炎など人の健康への影響があります。

NOx排出量



NOxとは？ 物が燃えるときに空気中の窒素や燃料中の窒素が酸化されて発生します。人の呼吸器に影響を与えるだけでなく、光化学スモッグの原因の1つです。

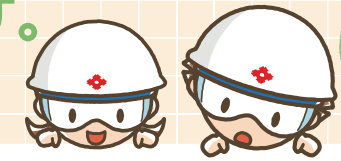
ばい塵排出量



ばい塵とは？ 大気中に浮遊する粒子状物質のうち、燃料の燃焼などに伴って発生するススなどを指します。



地域・周辺環境のグリーンな空気を保つために、工場内の脱臭に取り組んでいます。



環境を守るために、たくさんの設備があるんだね。

環境対策設備の設置

当プラントでは、環境対策設備を設置し、環境負荷の低減に取り組んでいます。また、環境モニタリングを行うなど、環境に配慮した事業所を目指して取り組んでいます。

■ 排水処理施設



工場から出る排水を活性汚泥処理する設備です。水域への排出量を減らすよう努力しています。(P10の排水処理を参照ください。)

■ 水質自動計測器



排水処理施設および廃液焼却設備で処理された排水の窒素・りんなどを連続監視する機器です。処理後の排水が無害であることを確認しながら海域へ放流しています。

■ 廃液焼却設備



排水処理施設で処理することが困難な廃液を焼却処理する設備です。高温で燃やすことで完全燃焼させて廃棄物の減量化を図っています。(P10の液中燃焼処理を参照ください。)

■ 脱硝技術・NOx連続測定機器



廃液焼却設備から排ガスのNOxを低減するため、アンモニア水添加燃焼による脱硝技術を導入しています。安定的に脱硝効果があることを確認するために連続測定機器を設置して常時監視しています。

■ 活性炭吸着塔



有機化学物質・臭気成分などを活性炭で吸着処理して除去する設備です。排ガス処理施設に設置して大気への排出量を減らすよう努力しています。

■ 臭気センサー



臭いを数値化するセンサーです。このセンサーを携帯しての環境パトロールを1日3回行っています。



工場で製品を作る際に出る廃棄物を少なくし、新しい資源として再利用できるようにしています。

リサイクル推進に向けての取り組み

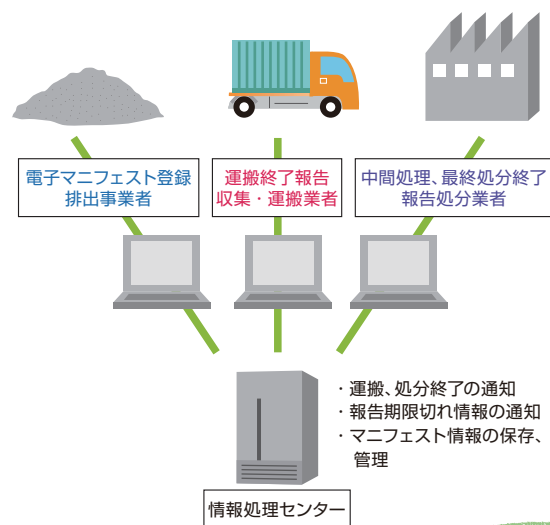
当プラントでは、リデュース（廃棄物発生量を減らすこと）とともに、リサイクル（再利用）、リユース（再使用）を推進し、ゴミゼロに向けて取り組んでいます。

廃棄物の収集・保管状況

●電子マニフェストシステムの導入

産業廃棄物の処理を他人に委託する場合にマニフェスト（産業廃棄物管理票）の発行が必要です。岡山プラントでは、廃棄物が適正に処理されていることを簡単・迅速に確認できる電子マニフェストシステムを導入しています。

（政府目標：2010年に普及率50%）
（岡山プラントでは2010年度から100%運用しています）



リサイクルするためには、細かな分類が必要なんだね。

●廃棄物の分別保管

リサイクルを推進するために、廃棄物を約30種類に分類しています。

廃棄物分別基準	主な素材	廃棄物名称
①PETリサイクル品	ポリエチレンテレフタレート (PET)	PET製容器類
②PET以外のプラスチック類	ポリプロピレン (PP)、ポリエチレン (PE)、ポリスチレン (PS)、ポリカーボネート (PC)	PET以外のプラスチック類
③紙類	紙	紙類
④金属類	鉄、ステンレス、アルミ	金属類
⑤ガラス類	ガラス	ガラス類
⑥その他	その他	その他



専用車で収集するのは、安全に廃棄することにつながります。

●廃棄物の収集

事業系一般廃棄物は「燃えるごみ」「埋立ごみ」に分別して専用車で収集しています。



清掃車（パッカー車）

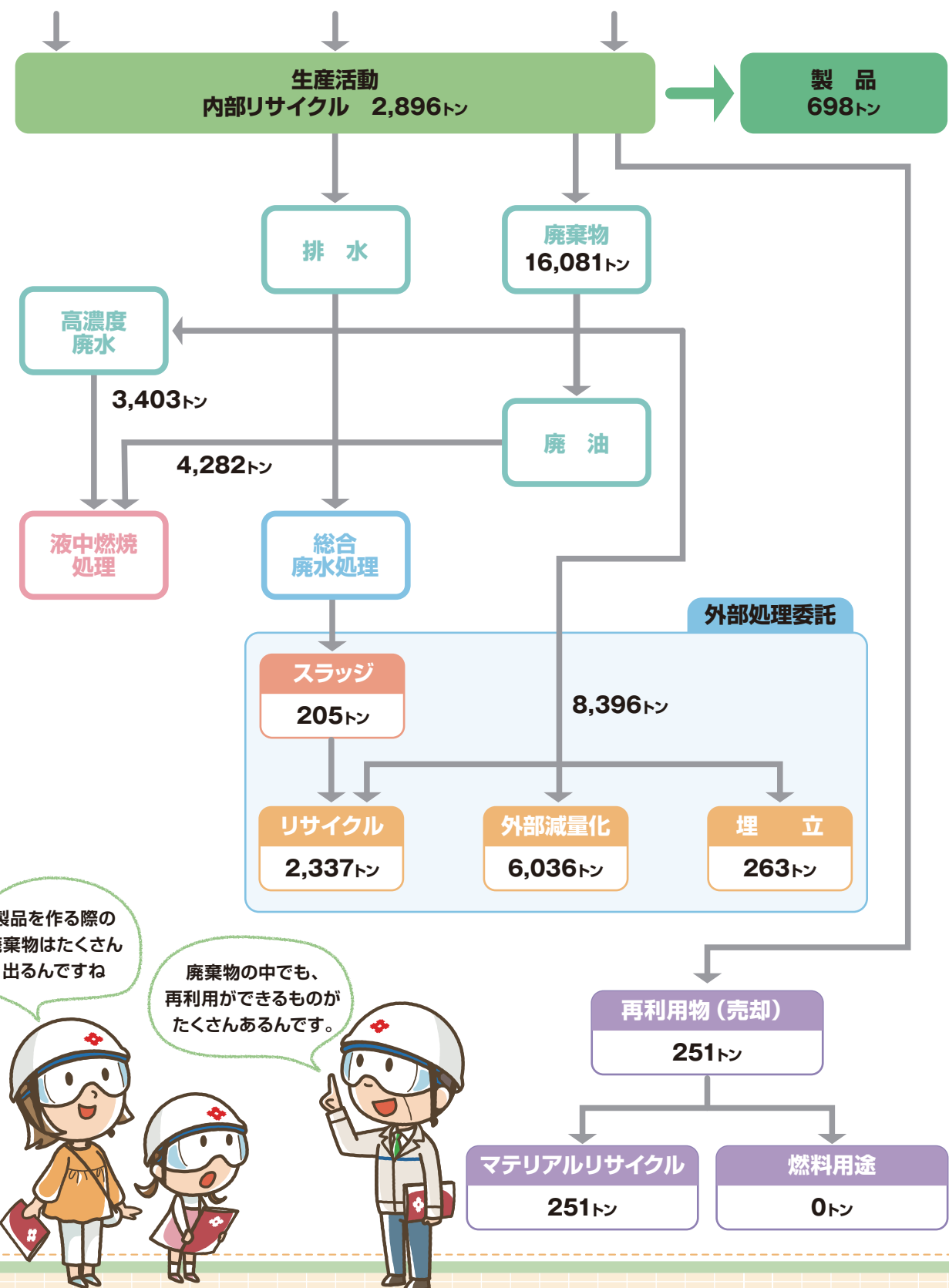


脱着式コンテナ車（アームロール車）



Point.1 廃棄物処理の流れ

岡山プラントでは、生産活動に伴い発生する廃棄物に関して、自社処理（中和、脱水、焼却処理等）による減量化、無害化、再資源化の推進を基本として処理しています。2021年度は以下のとおりです。



製品を作る際の廃棄物はたくさん出るんですね

廃棄物の中でも、再利用ができるものたくさんあるんです。



地球温暖化防止のため、製品開発の段階から製造まで、エネルギー使用量と二酸化炭素の排出量の削減に取り組んでいます。

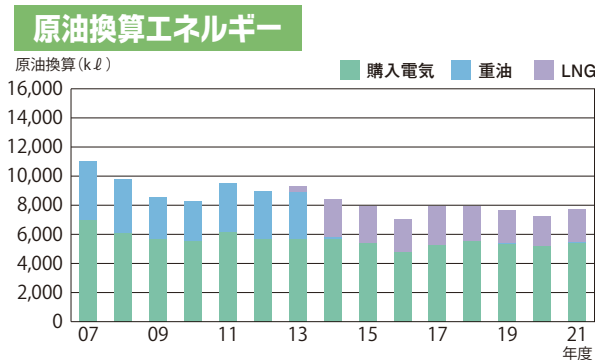
省エネルギーと温暖化防止の取り組み

私たちの省エネルギー活動は、エネルギーの消費量を減らすだけでなく、地球温暖化を促進する温室効果ガスである「二酸化炭素」などの発生を減らすことにも併せて取り組んでいます。

●エネルギー転換

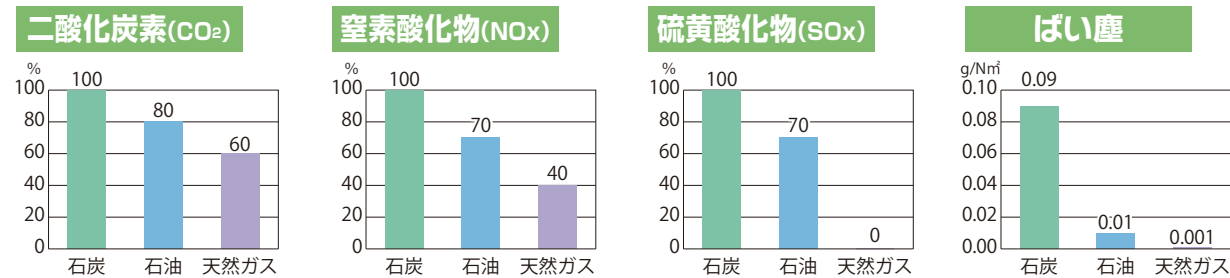
蒸気貫流ボイラーでは燃焼燃料にA重油を使用していましたが、2013年度に化石燃料の中でも燃焼時の環境負荷が最も小さいLNG(天然ガス)に切り替えました。

2014年度は年間で300kℓ(原油換算)のエネルギー消費量の削減、CO₂排出量は1,900トンの削減を達成できました。



LNG(天然ガス)は、化石燃料の中でCO₂排出量が最も少なく、かつばい塵、SO_xの排出はほとんどゼロです。

●燃焼時の排出量のちがいを比較



【出典】CO₂:「火力発電所大気影響評価 技術証明調査報告書」(1990.3) / エネルギー総合工学研究所
 NO_x, SO_x:「IEA(国際エネルギー機関) Natural Gas Prospects to 2010」(1986)
 ばい塵: (社)日本産業機械工業会関西支部発行「ボイラーにおけるばい塵処理システムの指針」

PRTR対象物質(特定化学物質)の管理

PRTRとは、環境に有害な恐れのある物質の大気や水域、土壌などへの排出量および廃棄物として事業所の外へ移動する量を行政に届け出て、公表していく制度です。

PRTR法「特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律」の施行により、2001年度の実績から特定化学物質の環境への排出量等を毎年、岡山県に届け出ることが義務付けられています。

この法律で指定されている化学物質(第一種指定化学物質)は、462種類です。
 当プラントでは、2021年度は下の表の13物質を報告しました。

PRTR該当物質排出量・移動量一覧表(2021年4月~2022年3月)

単位:kg
 (ダイオキシン類のみmg-TEQ)

化学物質名	排出量				移動量(※1)		
	大気	水域	土壌	排出計	下水道排出	廃棄物処理	移動量総計
2-アミノエタノール	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
N,N-ジメチルアセトアミド	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
N,N-ジメチルホルムアミド	154.0	0.0	0.0	154.0	0.0	94,422.0	94,422.0
アクリル酸メチル	63.0	0.0	0.0	63.0	0.0	0.0	0.0
アセトニトリル	22.0	0.0	0.0	22.0	0.0	0.0	0.0
エチルベンゼン	546.0	75.0	0.0	621.0	0.0	7,575.0	7,575.0
キシレン	384.0	44.0	0.0	392.0	0.0	10,223.0	10,223.0
ダイオキシン類	1.2	0.000206	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0
トリエチルアミン	41.0	0.0	0.0	41.0	0.0	30,309.0	30,309.0
トルエン	919.0	0.0	0.0	919.0	0.0	25,918.0	25,918.0
ノルマル-ヘキサン	1,405.0	28.0	0.0	1,433.0	0.0	0.0	0.0
ベンジル=クロリド(別名:塩化ベンジル)	4.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0
無水フタル酸	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	3,504.0	147.0	0.0	3,651.0	0.0	168,447.0	168,447.0

※移動量とは、当地区外で処理される量です。

Point.2 2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、温室効果ガス削減目標を引き上げ、改めてSBTイニシアチブの認定を取得

住友化学は、2018年、グループ会社を含めた温室効果ガス排出に関する削減目標について、総合化学企業として世界で初めて「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ」による認定を取得しました。

その後、2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、住友化学グループの温室効果ガス(GHG)排出量の削減目標を引き上げたことに伴い、2021年12月に「産業革命後の温度上昇を2℃を十分に下回る水準」でSBTイニシアチブの認定を改めて取得しました。

SBTイニシアチブは、国際的な4組織からなる団体です。また、SBTとは、産業革命前からの地球の平均気温上昇を2℃未満にするという、2015年に採択された「パリ協定」の「2℃目標」を実現するために、企業が気候科学に基づき設定した高水準な目標です。



化学物質一つひとつがどれくらい排出され、廃棄されたかをしっかり管理しているんです。



こうやって管理・公開することで、排出量を削減していけるんだね。

環境を守るための活動費用と効果を認識し、より効果的に活動を進めていくための仕組みを作っています。

環境会計

環境会計とは、環境保全活動を実施するための費用と、その活動から得られる効果を示したものです。継続的に、かつ効果的に環境保全活動を進めていく上で重要な指針となります。この環境会計の報告は、環境省が公表した「環境会計ガイドライン」を参考に作成しています。また、住友化学の環境会計は第三者機関（KPMG あずさサスティナビリティ株式会社）による審査を受けています。

■ 環境保全コスト(2021年度)

(単位:百万円)

分類	主な取り組み内容	投資額	費用額(※)
事業所	環境対策コスト	127	235
エリア内	地球環境保全コスト	0	0
	資源循環コスト	0	454
小計		127	689
上・下流コスト	グリーン購入・リサイクル	0	0
管理活動コスト	教育、環境対策組織運営	0	26
研究・開発コスト		0	0
社会活動コスト	緑化、景観改善	0	0
環境損傷コスト		0	0
合計		127	715

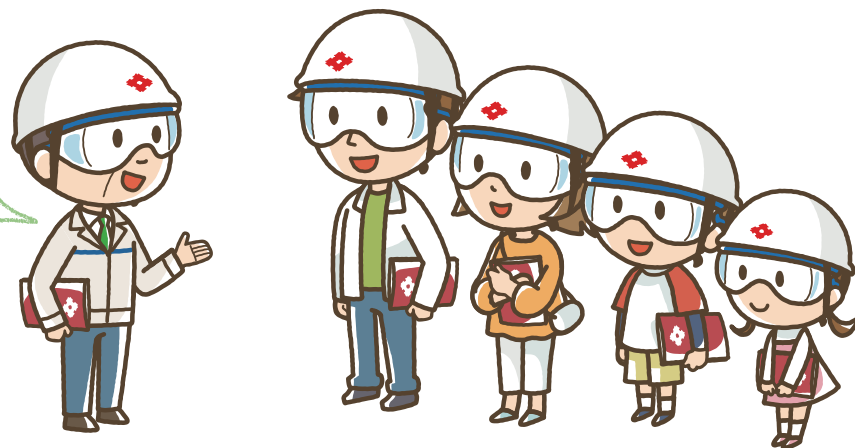
■ 経済効果(2021年度)

(単位:百万円)

項目	経済効果
リサイクル活動による効果	0
省資源による効果	455
省エネルギーによる効果	14
合計	469

(※)費用額とは、運転費用です。

ここまでが、「環境保全」です。岡山プラントは環境を守るために、さまざまな取り組みを行っています。次は、「化学品の安全・品質保証」について見てみましょう。



製品の安全は、どうやって確かめているのですか？



化学物質の安全性研究に取り組み、安心して使っていただける製品をお届けしています。

化学品安全活動

岡山プラントでは、化学製品の開発から出荷・使用・廃棄にいたるまで化学物質の適正管理に努めています。長年にわたり蓄積してきた化学物質の安全性評価に関する豊富な知見と最新技術を駆使して、安全性の確保や環境の保全に努めています。蓄積した製品や原材料等のデータベースのシステム(SUCCESS)では会社データの情報が活用でき、またお客様からのお問い合わせや、法規制対象物質の含有確認などに有効活用しています。



愛媛にある生産安全基盤センターには、災害防止を専門に研究する「安全工学グループ」があります。国内有数の研究設備を備えた専門家集団で、取り扱い物質の危険性の測定や「プロセス安全検討会」などにも参加して、岡山プラントの無事故・無災害に大きく役立っています。また、大阪にある生物環境科学研究所では、化学物質の安全性の研究を行っています。岡山プラントの製品もこうした努力に支えられて、社会の信頼を得ています。



Point.3 品質保証

岡山プラント品質方針

品質マニュアルに定める品質方針に準拠して、関連する業法を遵守し、かつお客様の要求に応えるため継続的な改善を行い、お客様が満足する安定した製品やサービスを提供します。

岡山プラントでは、GMPに適合した管理方法および製造設備で医薬品原薬・原薬中間体を主に製造しています。

GMPシステムは、国内/海外当局の定期的な査察により確認を受け、継続的な改善を行い維持しています。

GMP：医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準

化学品の管理や、品質は、万全に行っています。





工場の安全は、 どうやってつくっているの？

周辺地域や工場、従業員の安全を第一に考え、
安心して働ける、職場環境づくりを目指しています。

安全文化を深める

「安全を全てに優先させる」という基本理念の基に、労働災害ゼロを目指してさまざまな安全活動を展開しています。 岡山プラント完全無災害記録 2163日(2022年3月31日現在)

毎月第一営業日の合同朝礼では構内のお稲荷さんで各職場代表による安全祈願「安全の誓い」を行い、プラント長、部長による「安全講話」、ゆびさし唱和で安全意識の高揚を図っています。



プラント長をはじめとして部長、課長、安全衛生技術指導員、安全衛生推進員による安全衛生パトロールや産業医パトロールを月1回実施して、無事故・無災害への諸施策に役立っています。



このような活動を続けることが
みんなが健康で安心して
働ける職場づくりに
つながっていくんだね。



従業員の教育・訓練

教育・訓練については、法定教育をはじめ意識教育、技能教育、緊急時処置訓練教育など多方面にわたり実施し、環境・安全についても幅広く教育を行っています。



危険予知訓練(4R-KYT)



保護具セミナー



VR墜落体感



安全体感研修

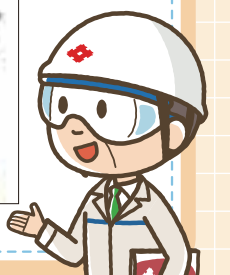
酸欠体感

Point.4 OSHMS(労働安全衛生マネジメントシステム)の運用

OSHMSとは、中央労働災害防止協会の提唱する、PDCA(計画-実施-評価-改善)サイクルを回し、自主的かつ継続的に労働安全衛生管理を行う仕組みです。岡山プラントでも労働災害の顕在的な危険性を低減するとともに、構内で働く人の健康増進や快適な職場環境づくり、あるいは安全衛生水準の向上に役立つ取り組みとして、2007年4月より運用を開始し、2009年2月に登録認証を取得後、2021年5月に更新審査を受けて継続運用しています。



労働安全衛生管理に
しっかり取り組んでいる
証なんです。





大きな地震が 起こっても大丈夫？

工場では、事故や災害が起こらないよう努力し、
緊急時のために、さまざまな訓練を行っています。

保安・防災のために

- 1 事故や火災を未然に防止するために、製品の開発段階から危険性の評価を行い、より安全に製造するための検討会を開いて、危険性評価に応じた操作手順および製造設備の改善を実施しています。
- 2 事故および緊急事態が発生した場合に備え、各種消火設備の点検や異常時の早期発見および迅速な通報連絡の訓練、緊急処理や汚染の拡大防止措置が的確に行えるように保安防災体制を整備しています。



突然の地震への
対策もしっかり
対応できるように
しているんですよ。

児島消防署との合同防災訓練

工場での災害発生を想定し、緊急時に迅速な対応ができるよう、児島消防署と合同で訓練をしています。



公設消防隊による消火活動



現地指揮本部長から
公設消防隊へ状況説明

防災訓練

事故および緊急事態に対応するため災害を想定した防災訓練を実施し、確実に対応できる人材の育成を行っています。



災害対策本部

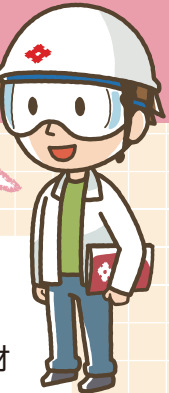


現地指揮本部



消火器による初期消火訓練

定期的に
訓練することで、
従業員のみなさんの
高い意識が保たれて
いるんですね。



地震・津波対策

南海トラフ地震発生に備え、緊急時措置訓練や倉敷市津波ハザードマップを基に、津波被害シミュレーション等を実施しています。



倉敷市津波ハザードマップ(当工場周辺図)



地震計(表示器)

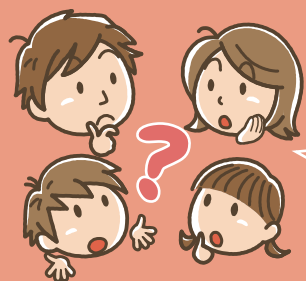


地震計(センサー)

Point.5 緊急時の情報伝達

夜間・休日の災害発生時にワンタッチで情報を発信し、迅速に対応人員の招集・緊急駆付けができるよう、緊急情報伝達システムを導入しています。





周辺地域の人たちと どんな交流をしているの？

地域の皆様と様々な交流を通し、
地域社会への貢献と環境美化に努め、
より深くつながりあう中で理解を深めていけるよう、
私たちは活動をしています。

地域子供会への支援

住友化学では2009年から、こどもFBB（フットベースボール）大会を開催しています。
第9回大会は2019年3月9日に倉敷市六間川緑地公園で行われ、地域の子供会14チーム、約300名の小学生が参加しました。



清掃ボランティア活動

地域のみなさまとの
理解を深める
大切な機会です。



2022年6月5日、地域の一斉清掃日に、住友化学の社員と家族、協力会社の社員など合計41名で工場周辺の道路の清掃作業を行いました。





環境保全活動トピックス

地元小学生・中学生の見学・研修受け入れ

会社の活動に理解と興味を深めてもらうため、地元小学校・中学校から見学・研修の受け入れを行っています。

2019年度11月：職業体験として琴浦中学校から3名を受け入れました。(上段写真)

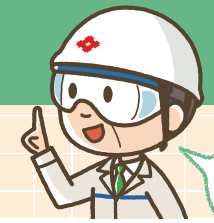
2021年度12月：琴浦東小学校の3年生親子を招き、工場見学会を実施しました。(下段写真)



僕も授業
受けてみたいな。



地域の子どもたちに、
化学の楽しさを
伝えています。



化学実験出前授業

琴浦東小学校6年全員を対象に、化学実験の出前授業を行っています。

化学を少しでも身近なものに感じてもらうと、結晶析出の観察や、液体窒素を使って風船や花を凍らす実験を体験していただいています。

各実験台には当社の製造、技術、品質、環境安全などに関わる社員が講師役として付き添い、安全に楽しい実験ができるように配慮し、児童の皆さんには興味をもって取り組んでいただいています。(写真は2019年2月開催時のもの)



※新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、2020～2022年のこどもフットベースボール大会、地元中学生の研修受け入れ、化学実験出前授業は中止しました。